

2021年

5/8 土

昌賢学園まえばしホール

小ホール 前橋市南町3-62-1

チケット 1,000円 全席指定 前橋文学館観覧券付 6/6まで

※ 4月10日(土) 9:00から前橋文学館、昌賢学園まえばしホールで販売
※ 遠方の方は取り置きいたします。(詳細は裏面をご覧ください)

開演 14:00~
(開場 13:30~)

第49回
朔太郎忌

月に吠えらんねえ

in 前橋

TSUKINIHDERANNEE IN MAEBASHI
SAKUKUN × SAKUTAROU
朔くん × 朔太郎

第1部

リーディングシアター『月に吠えらんねえ』

出演 柳沢三千代 (声優)

原作・原画 清家雪子

福原美波 (声優)

脚本 栗原飛宇馬 (文学研究者)

手島実優 (俳優)

演出 荒井正人

西村俊樹 (俳優)

音楽 荒木聡志

萩原朔美 (前橋文学館館長)

第2部

対談『月に吠えらんねえ』に『吠えたんねえ』

清家雪子 & 松浦寿輝

詩人・作家・東京大学名誉教授
萩原朔太郎研究会会長

漫画家
(『月に吠えらんねえ』作者)

主催／朔太郎忌実行委員会、前橋市

共催／萩原朔太郎研究会、(公財)前橋まちづくり公社、前橋文学館友の会

後援／朝日新聞社前橋総局、NHK前橋放送局、FM GUNMA、共同通信社前橋支局、群馬テレビ、
産経新聞社前橋支局、J:COM群馬、時事通信社前橋支局、上毛新聞社、高崎前橋経済新聞、
東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、前橋観光コンベンション協会、まえばしCITYエフエム、
前橋商工会議所、読売新聞前橋支局

協賛／群馬詩人クラブ、群馬ペンクラブ

お問い合わせ／朔太郎忌実行委員会 (萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち前橋文学館内)



前橋文学館

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10

TEL: 027-235-8011 FAX: 027-235-8512

<https://www.maebashilibraryakukan.jp>

イラストレーション／清家雪子 デザイン／真鍋苑子 (萩原朔太郎研究会幹事)



第49回

朔太郎忌

月に吠えらんねえ

in 前橋

TSUKINIDERANEE IN MAEBASHI
SAKURUN × SAKUTAROU
朔くん × 朔太郎

詩人、萩原朔太郎が亡くなったのは1942(昭和17)年5月11日でした。朔太郎の生地、前橋では命日に合わせて、近代詩史に大きな足跡を残した朔太郎を偲ぶ「朔太郎忌」を開催しています。今回は、朔太郎の作品をはじめ、日本近代文学の名作を大胆かつ繊細にキャラクター化して話題をよんだ漫画『月に吠えらんねえ』に焦点を当てます。

開催にあたり

- 新型コロナウイルス感染症について、政府・自治体・関係諸機関から示される正確な情報収集に努めるとともに、感染拡大防止に細心の注意を払い公演を開催いたします。
- 開催におきましては、ホール管理者と連携の上、可能な限りの安全策を講じてまいります。ご来場のお客様にも会場内におきましては、マスクの着用、咳エチケットの実践等、感染拡大防止へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。
- 感染拡大防止のため、ご来場者のお名前と連絡先を伺います。(把握した情報は必要に応じて保健所等の公的機関へ提供させていただく場合があります。)
- 当日、体温37.5度以上の熱の有る方、発熱により平熱以上の方、体調に不安がある方のご来場はお控えください。

取り置きチケットについて

- 座席指定はできません。
- チケットは当日、会場にて入場料1,000円と引き換えにお渡しします。
- 申し込み後のキャンセルは、前橋文学館までお電話ください。

チケット申込書

右のQRコードを読み取り、お申込みください。

<URL> = <https://tinyurl.com/yfjbuprf>



前橋文学館 TEL.027-235-8011 ※イベント中止の場合は、前橋文学館で払い戻しをいたします。



朔太郎忌 会場

昌賢学園まえばしホール

前橋駅南口を、南へ直進、二つ目の信号「南町三丁目」を右折、約50m歩いた左側。

※会館の専用Pが満車の場合は、周辺の有料Pをご利用ください。

出演者

第1部

リーディングシアター『月に吠えらんねえ』

『月に吠えらんねえ』の世界をわかりやすく紹介するとともに、原画と声と舞台効果の融合でその魅力を再発見する物語をお届けします。



柳沢三千代
(声優)



福原美波
(声優)



手島実優
(俳優)



西村俊樹
(声優)



萩原朔美
(前橋文学館館長)

第2部

対談『吠えらんねえ』に『吠えたんねえ』

清家雪子



自画像

愛知県生まれ。漫画家。2000年『孤陋』でアフタヌーン四季賞大賞を受賞。「アフタヌーン」(講談社)誌上に2010~11年『秒速5センチメートル』(原作:新海誠)、2011~12年『まじめな時間』、2013~19年『月に吠えらんねえ』を連載。2017年に『月に吠えらんねえ』が第20回文化庁メディア芸術祭マンガ部門新人賞受賞、2019年度第19回 Sense of Gender 賞大賞受賞。現在、『月に吠えらんねえ』のリポート作品である『月に吠えたんねえ』を講談社Palcyにて連載中。

松浦寿輝



1954年東京都生まれ。詩人、作家。1988年詩集『冬の本』で第18回高見順賞、2009年『吃水都市』で第17回萩原朔太郎賞、2014年『afterward』で第5回鮎川信夫賞。小説では、2000年『花腐し』で第123回芥川賞、2005年『半島』で第56回読売文学賞、2017年『名譽と恍惚』で第53回谷崎潤一郎賞、第27回ドゥマゴ文学賞。評論では、1995年『エッフェル塔試論』で第5回吉田秀和賞。1996年『折口信夫論』で第9回三島由紀夫賞、2000年『知の庭園——一九世紀パリの空間装置』で第50回芸術選奨文部大臣賞、2015年『明治の表象空間』で第56回毎日芸術賞特別賞。2016年12月より萩原朔太郎研究会会長。萩原朔太郎賞選考委員。東京大学名誉教授(フランス文学・表象文化論)。2019年、日本芸術院賞を受賞。日本芸術院会員。